

## 大阪府教育委員会委員の任命について同意を求める件

〔教育委員会委員〕

<p style="text-align: center;">現 委 員</p> <p style="text-align: center;">（ 生年月日・年齢 現 職 等 （任 期） ）</p>	<p style="text-align: center;">新 委 員</p> <p style="text-align: center;">（ 生年月日・年齢 現 職 等 （任 期） ）</p>
<p>もり ぐち ひさ こ 森 口 久 子</p> <p>昭和 34 年 10 月 20 日生 65 歳</p> <p>医療法人誠心会森口医院理事長</p> <p>1 期目：R2. 10. 1～R6. 9. 30</p>	<p style="text-align: center;">再 任</p> <p>2 期目：R6. 10. 1～R10. 9. 30</p>
<p>おか べ み か 岡 部 美 香</p> <p>昭和 45 年 2 月 13 日生 55 歳</p> <p>大阪大学大学院人間科学研究科教授</p> <p>1 期目：H28. 10. 1～R2. 9. 30</p> <p>2 期目：R2. 10. 1～R6. 9. 30</p>	<p>お ぎ き えり子 尾 崎 えり子</p> <p>昭和 58 年 12 月 18 日生 41 歳</p> <p>株式会社新閃力代表取締役 ほか</p> <p>1 期目：R6. 10. 1～R10. 9. 30</p>

※ 年齢は令和 7 年 3 月 31 日時点での年齢

(教育委員会委員)

略 歴

住 所 守口市

もり ぐち ひさ こ  
森 口 久 子  
昭和34年10月20日生

昭和59年 9月	近畿大学医学部卒業
同 60年 6月	近畿大学医学部小児科学教室研修医
同 61年10月	市立貝塚病院小児科
同 62年 4月	近畿大学医学部小児科学教室大学院特別研究生
平成 1年 1月	医療法人誠心会森口医院医員
同 4年 3月	医療法人誠心会森口医院理事長（現在に至る。）
同 16年 4月	守口市医師会理事
同 26年 6月	守口市医師会副会長
同 30年 6月	大阪府医師会理事（現在に至る。）
令和 2年10月	大阪府教育委員会委員（現在に至る。）

【再任理由】

- ・ 森口氏は、小児科の医師として地域医療の一端を担いながら、守口支援学校の学校医を務める等、学校における保健管理にも精通している。また、20年以上にわたり発達障がい傾向がある子どもから成人までの支援に深く携わってきた人物。
- ・ 1期目在任中にあっては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う非常事態の発生に対して、その高度な専門的知見を活かして、子どもの安全と保護者の安心を確保しながら、教育機会の確保に尽力してきた。
- ・ 知的障がいのある子どもたちが増加傾向にある大阪府において、今後も教育行政の推進には医療の観点は不可欠であり、森口氏は代えがたい人材であることから、引き続き、本府の教育行政を担っていただきたいと考えている。

(教育委員会委員)

略 歴

住 所 岡山県英田郡西粟倉村

お ぎ き  
尾 崎 え り 子  
昭和 5 8 年 1 2 月 1 8 日 生

平成 1 8 年 3 月	早稲田大学法学部卒業
同 1 8 年 4 月	株式会社リンクアンドモチベーション 入社
同 2 2 年 1 月	スポーツデータバンク株式会社 入社
同 2 5 年 6 月	千葉県流山市子ども・子育て会議審議委員
同 2 6 年 7 月	株式会社新閃力 代表取締役 (現在に至る。)
令和 2 年 4 月	奈良県生駒市教育委員会事務局 教育改革担当 (会計年度任用職員) (現在に至る。)
同 2 年 1 1 月	福島県磐梯町官民共創・複業・テレワーク審議会委員
同 3 年 3 月	株式会社市進ラボ 社外取締役 (現在に至る。)
同 3 年 4 月	千葉県流山市 ICT 教育推進顧問
同 6 年 5 月	奈良県未来を拓く学びの創造会議委員 (現在に至る。)
同 6 年 5 月	北海道中富良野町「新しい学校づくり検討委員会」アドバイザー (現在に至る。)

【選任理由】

- ・尾崎氏は、大学卒業後、経営コンサルティング会社に入社。その後、平成 2 6 年に株式会社新閃力を設立。起業家として民間学童や女性向けのテレワーカー育成プログラムをプロデュースするなど、新規事業のコンサルティングに取り組んできた。
- ・また、千葉県流山市などの行政機関において、ICT を活用した教育に携わっており、現在も奈良県生駒市教育委員会事務局の教育改革担当として、オンライン授業や課題探究型学習など、学校現場の目線に立ち、これまでにない新たな授業改革を行っている。
- ・ICT 教育に関する高度な専門知識と保護者としての視点を併せ持つ人物であり、教育現場の ICT 化を積極的に進める本府の教育行政を担っていただく適任者と考えます。